各常任委員会は、下記の分野の問題・課題について議論しています。
◎総務・産業常任委員会…総務、企画調整、税務、産業、商工観光、建設、上下水道
◎社会・文教常任委員会…町民、保健福祉、教育、消防

総務・産業常任委員会

職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

と令和3年度様似町の健全化判断比率等について

育児休業に関しては、取得回数制限を現行1回から2回まで取得可能にし、子の出生後8週間以内に育児休業を2回まで取得可能にするもので育児休業の取得回数制限を緩和することにより、夫婦交替での育児休業や、男性職員の育児休業の取得をしやすくするものです。

健全化判断比率について、実質公債比率、将来負担比率ともに今後の事業計画に対しどう変動するか質問が出されておりますが、この10年間でおおむね、水道10億、消防10億、中央公民館3億、アポイ山荘3億、スポーツセンターが5億と発生するが財政シミュレーションの中では現在の償還が今年と来年がピークで、来年以降相当下がるが9次計画の大型事業をすることにより次の10次の期間中に今と同じくらいの規模に戻るとのことです。

様似川河口周辺海域栄養塩類調査の結果について

6月19日と20日に様似川河口6箇所において採水し、水質調査を実施し、様似町下水道終末処理場の放水による植物プランクトンの増殖要因である栄養塩に係る水質環境を把握しています。

放流水はアンモニア態窒素の値が高かったものの、海域では定量限界値前後で推移しており、これは処理場から様似川に放流後に希釈が進み、海洋域で更に希釈されていることが考えられ、亜硝酸態窒素も同様と考えられるとのことです。

その他、硝酸態窒素、全窒素、全リンは水産用基準値を海洋域での影響はほぼない状態で生物への直接的な影響はほとんど無いと思われるとのことでした。



栄町団地建替事業について

栄町団地は令和5年度から令和9年度の期間で現在の18棟32戸を8棟16戸へ建替を行う予定で7月に入居者説明会を行い、令和5年から解体工事を行うことから、令和5年3月を目途に他団地の住宅等へ、一時入居・移転していただくことになります。

現在入居している18世帯の意向は一時入居9世帯、転居5世帯、その他3世帯、意向不明1世帯の状況となっています。



審議した案件

7月12日
◆6月28日～29日豪雨に伴う災害の状況（林道関係）
◆6月28～29日及び7月4日豪雨による町管理施設災害復旧の現況
◆豪雨に伴う松岡奥新富線の災害現場
◆林道生産基盤整備道、西冬島線開設工事の予定地

以上、2か所の現地調査。

9月1日
◆保育料の算定誤り
◆職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定
◆令和3年度様似町の健全化判断比率等
◆町有地の公売（錦町・緑町）
◆栄町団地建替事業
◆栄町浄水場送水ポンプ室新築工事請負契約の締結
◆下水道事業に係る消費税及び地方消費税の修正申告
◆様似川河口周辺海域栄養塩類調査の結果

以上、10件について審議。

9月2日
◆浦河町リサイクルセンター
◆ひだか南森林組合

以上、2か所の行政視察。

社会・文教常任委員会

保育料の算定誤りについて

幼児センターに入所する3歳未満の児童に係る保育料について、令和2年度及び3年度において、算定に一部誤りがあることが判明した。対象件数及び影響額は、実世帯数で2世帯、延べ件数では3件、金額は49万3，400円が返還すべき額となる。対象世帯への説明とともに、すみやかに還付処理を行う。



今後、保育料算定にあたっては、例規に基づき正確に処理することはもとより、世帯の課税状況や監護する子どもの人数については特に注意し、複数人で確認することを徹底する。

「ミルク給食に関するアンケート調査結果」について

ミルク給食に関するアンケート調査結果が報告された。アンケートの回収率は58．7％で教育委員会では今回の結果をふまえ、今年度後半にミルクを無償化するものとして進める。

実施に当たっては、保護者にミルク注文の有無の再確認を行う。また、この際「給食は全員実施が原則である点、完全給食の場合も必ずミルクが含まれる点等」をあらためて周知する。

「様似型スクールランチ」におけるアレルギー対応について

昨年9月より「様似型スクールランチ」を実施しているが、注文時におけるメニューに「28品目のアレルギー物質」が含まれていることを明記したうえで、保護者の皆様には、お子さんが持っている「アレルギー」に注意をいただき、注文をしないという対応をいただいている。

しかし、今後については「代替食（アレルギー物質を含まない別の食べ物）」を取り入れることで、「アレルギー対応」を行ったうえで、「スクールランチ」を利用することが可能となる。なお、代替食を利用する場合は、現在負担いただいている金額に加算した料金を負担することになるが、負担が増えた料金分については、様似町で助成する。

スポーツセンターの耐震診断実施について

スポーツセンターは築50年を迎え、施設全般の老朽化も著しい状況である。今年度内に耐震診断を実施し、その結果をもとに施設の今後について検討を進める。（継続使用、改修、改築、除却）予算については、9月町議会定例会に補正予算を上程する。予算額は委託料として、807万4千円を計上する。



審議した案件

8月30日
◆新型コロナワクチン接種の状況
◆保育料の算定誤り
◆令和4年度全国学力・学習状況調査の結果
◆中体連全道・全国大会の結果
◆ミルク給食に関するアンケート結果
◆スクールランチのアレルギー対応
◆スポーツセンターの耐震診断実施

以上、7件について審議。